

# アブラハムに約束された神の祝福

2024年11月3日

**Messenger 新田栄子 Director**

**Worship Leader Yuka**

【主】はアブラムに仰せられた。

「あなたは、あなたの生まれ故郷、  
あなたの父の家を出て、わたしが示す地へ行きなさい。  
そうすれば、わたしはあなたを大いなる国民とし、  
あなたを祝福し、あなたの名を大いなるものとしよう。  
あなたの名は祝福となる。  
あなたを祝福する者をわたしは祝福し、  
あなたをのろう者をわたしはのろう。  
地上のすべての民族は、あなたによって祝福される。」

創世記 12章 1～3節 新改3版

【主】はアブラムに現れて言われた。

「わたしは、あなたの子孫にこの地を与える。」

アブラムは、自分に現れてくださった【主】のために、  
そこに祭壇を築いた。

創世記 12 章 7 節

これらの出来事の後、

【主】のことばが幻のうちにアブラムに臨んだ。

「アブラムよ、恐れるな。わたしはあなたの盾である。

あなたへの報いは非常に大きい。」

創世記 15 章 1 節

すると見よ、【主】のことばが彼に臨んだ。

「その者があなたの跡を継いではならない。

ただ、あなた自身から生まれ出てくる者が、あなたの跡を継がなければならない。」

そして主は、彼を外に連れ出して言われた。

「さあ、天を見上げなさい。

星を数えられるなら数えなさい。」

さらに言われた。

「あなたの子孫は、このようになる。」

アブラムは【主】を信じた。

それで、それが彼の義と認められた。

創世記 15 章 4～6 節

【主】は約束したとおりに、サラを顧みられた。

【主】は告げたとおりに、サラのために行われた。

サラは身ごもり、神がアブラハムに告げられた

その時期に、年老いたアブラハムに男の子を産んだ。

アブラハムは、自分に生まれた子、

サラが自分に産んだ子をイサクと名づけた。

創世記 21 章 1～3 節

これらの出来事の後、神がアブラハムを試練にあわせられた。神が彼に「アブラハムよ」と呼びかけられると、彼は「はい、ここにおります」と答えた。

神は仰せられた。

「あなたの子、あなたが愛しているひとり子イサクを連れて、モリヤの地に行きなさい。

そして、わたしがあなたに告げる一つの山の上で、彼を全焼のささげ物として献げなさい。」

翌朝早く、アブラハムはろばに鞍をつけ、

二人の若い者と一緒に息子イサクを連れて行った。

アブラハムは全焼のささげ物のための薪を割った。

こうして彼は、神がお告げになった場所へ

向かって行った。

創世記 22 章 1～3 節

ふたりは神がアブラハムに告げられた場所に着き、  
アブラハムはその所に祭壇を築いた。  
そうしてたきぎを並べ、自分の子イサクを縛り、  
祭壇の上のたきぎの上に置いた。  
アブラハムは手を伸ばし、  
刀を取って自分の子をほふろうとした。  
そのとき、【主】の使いが天から彼を呼び、  
「アブラハム。アブラハム」と仰せられた。  
彼は答えた。「はい。ここにおります。」  
御使いは仰せられた。「あなたの手を、その子に下して  
はならない。その子に何もしてはならない。  
今、わたしは、あなたが神を恐れることがよくわかった。  
あなたは、自分の子、自分のひとり子さえ惜しまないで  
わたしにささげた。」

創世記 22 章 9～12 節 新改 3 版

神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに  
世を愛された。

それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、  
永遠のいのちを持つためである。

ヨハネの福音書 3章 16節

キリストは、  
ご自分が私たちのためにのろわれた者となることで、  
私たちを律法ののろいから贖い出してくださいました。

「木にかけられた者はみな、のろわれている」と書いてあるからです。

それは、アブラハムへの祝福がキリスト・イエスによって異邦人に及び、私たちが信仰によって約束の御霊を受けるようになるためでした。

ガラテヤ人への手紙 3章 13節～14節

## 考えてみましょう

- ・ アブラハムの祝福を受け継ぐ者とされていることを聞き、どう思いますか。
- ・ 祝福を受け継いだ者として、どのように歩みますか。
- ・ お互いの祝福のために祈りましょう。

# MEMO